

道路管理者以外の者の行う道路工事取扱基準

昭和 52 年 5 月 25 日道維第 379 号 茨城県土木部長通知
 改 正 昭和 60 年 9 月 13 日道維第 538 号 道路維持課長通知
 改 正 平成 9 年 3 月 9 日道維第 414 号 道路維持課長通知
 一部改正 平成 10 年 3 月 11 日道維第 168 号 土木部長通知
 一部改正 平成 19 年 7 月 11 日道維第 219 号 道路維持課長通知

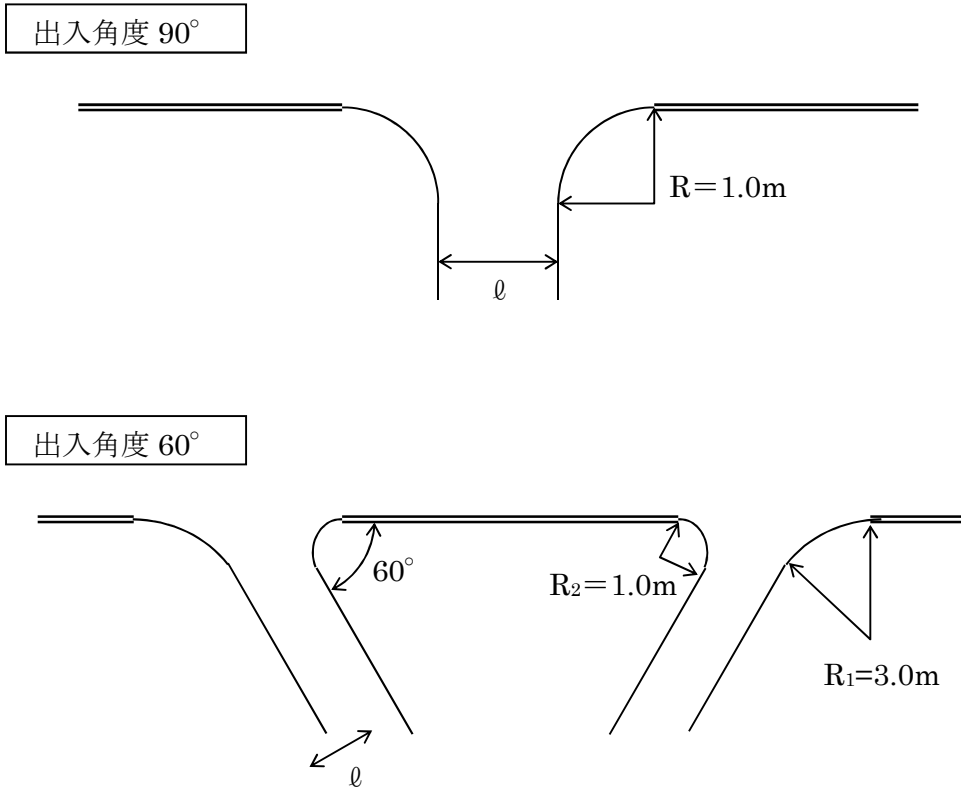
工事施行の承認基準は、下表の工事内容に応じてそれぞれの標準図等によるものとする。

工 事 内 容	標準図等
車両出入路取付	別表 1
〃 切土箇所車両出入路	〃 2
〃 盛土箇所車両出入路	〃 3
〃 〃 (用排水路のある場合)	〃 4
車両出入路歩道切下	〃 5～8
〃 自転車歩行者道切取	〃 9
側溝標準断面	〃 10～11
アスファルトコンクリート舗装厚	〃 12
切土、盛土の場合の境界杭の移設	〃 13
出入口設置禁止区域	〃 14

2. 道路管理者（道路法第 12 条，第 13 条第 1 項若しくは，第 3 項又は第 15 条，第 16 条の規程によって道路を管理する者）以外の者の行う道路工事に関する道路構造上の基準は，道路構造令によるものとする。

(別表1)

車輛 出入路 取付 標準 図



出入路取付

- ① 原則として1箇所とするが、その敷地内の建物又は事業の内容（消防法による危険物取扱所等）及び敷地面積が1,000 m²以上の場合は2箇所とすることが出来る。

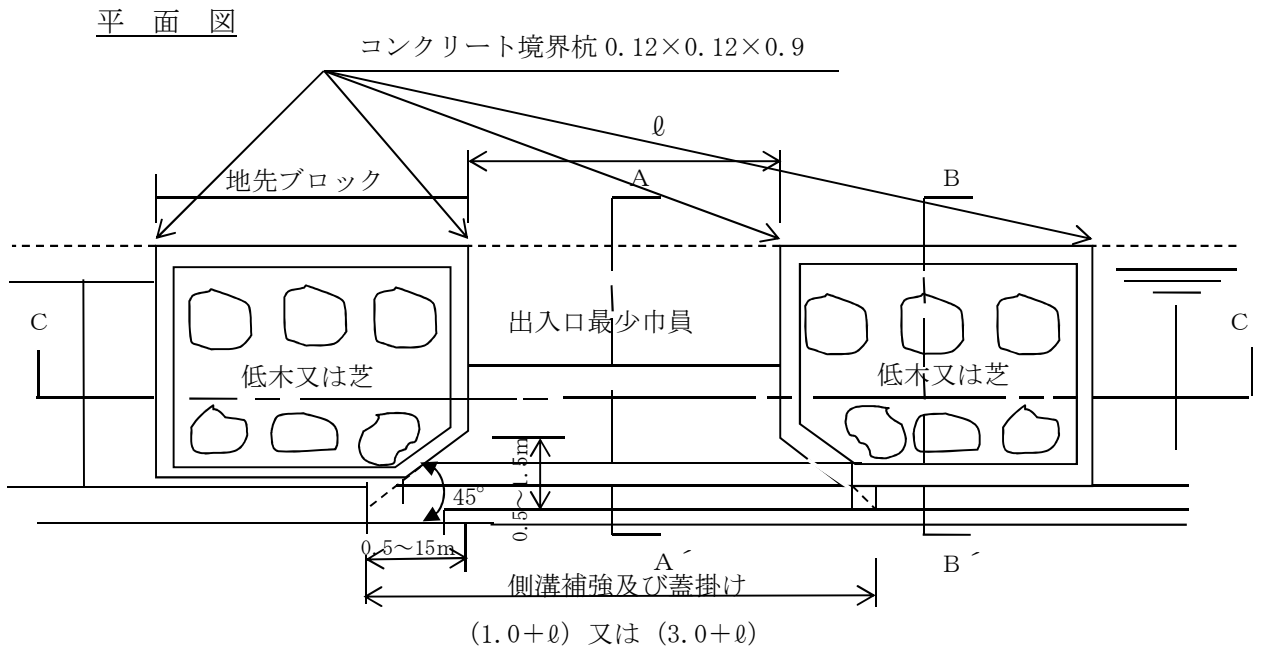
出入路の取付角度

- ① 原則として直角に取付けるとするが、止むを得ない場合は内角で60°以上とすること。
- ② 出入路の幅 l の最大値と隅切りは下表のとおり。
- ③ 路肩の幅が特別広い場所や特殊な車両が通行する箇所については個別に検討する。

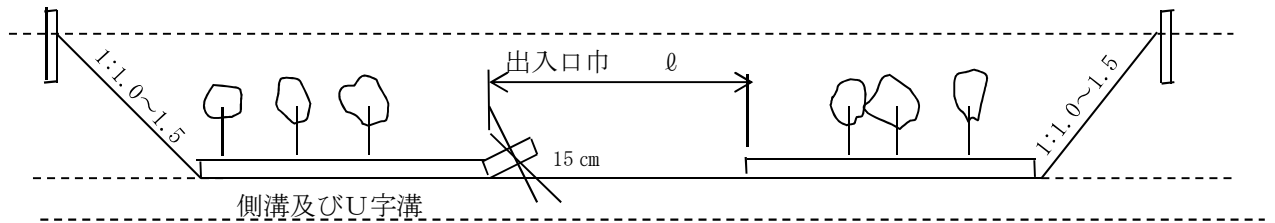
区分	車種別区分	出入角度 90°		出入角度 60°	
		出入口幅 (ℓ)	隅切り	出入口幅 (ℓ)	隅切り
A 型	乗用・小型貨物自動車等 (2t 程度)	4.0m	R=1.0m	—	—
B 型	普通貨物自動車・大型貨物自動車 (6.5t 以下)	8.0m	R=1.0m	7.0m	R ₁ =3.0m R ₂ =1.0m
C 型	大型貨物自動車 (6.5t を超えるもの)	12.0m	R=1.0m	8.0m	R ₁ =3.0m R ₂ =1.0m

(別表2)

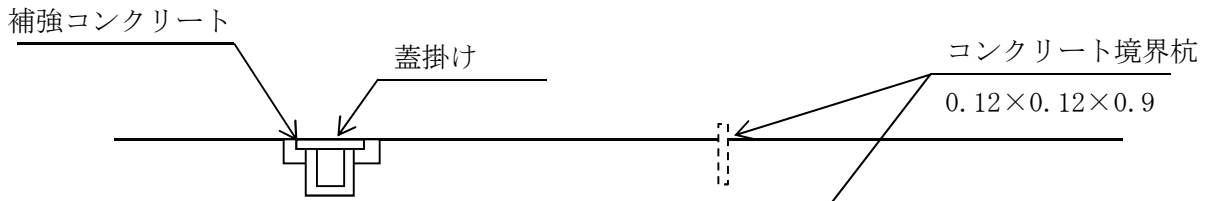
切土箇所車輛出入路標準図



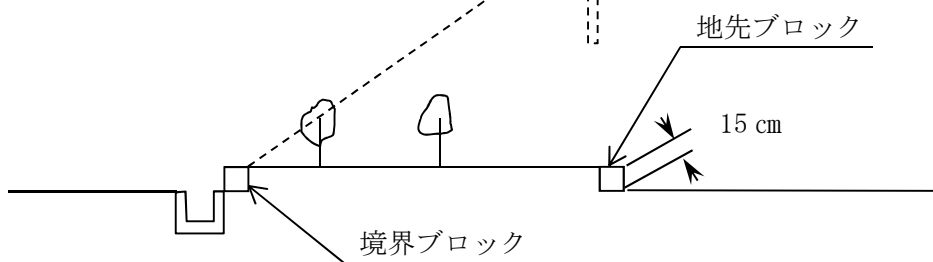
C~C断面



A～A断面



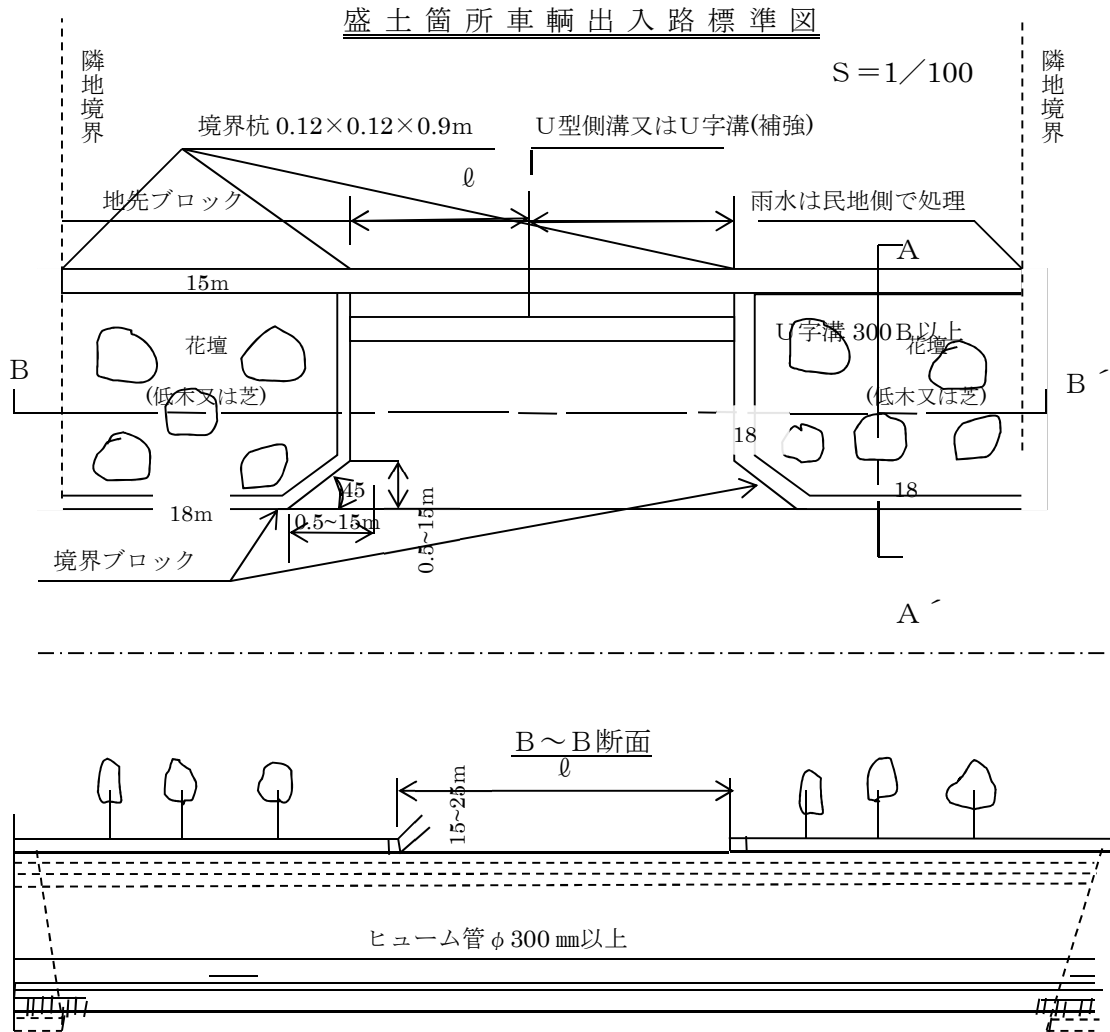
B～B断面

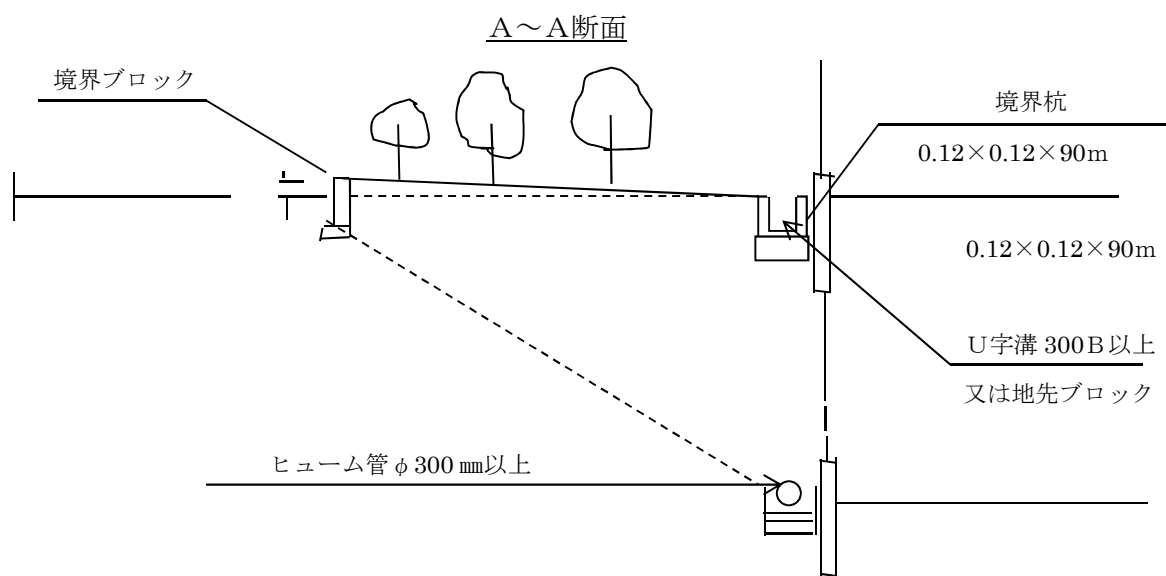


切土箇所車輛出入路

- ① 路側にU型側溝がある場合は別表—10—(2)の補強を行うこと。
- ② 既設U字溝の場合は出入路箇所は場所打側溝とし、別表—10—(1)によること。
- ③ 官地と民地は地先ブロック別表—11—(3)により区別し、官地側には低木又は芝を植えること。
- ④ 偶切部は内角45°とし、標準長は0.6mとし、最大延長は1.5m以下とする。

(別表 3)



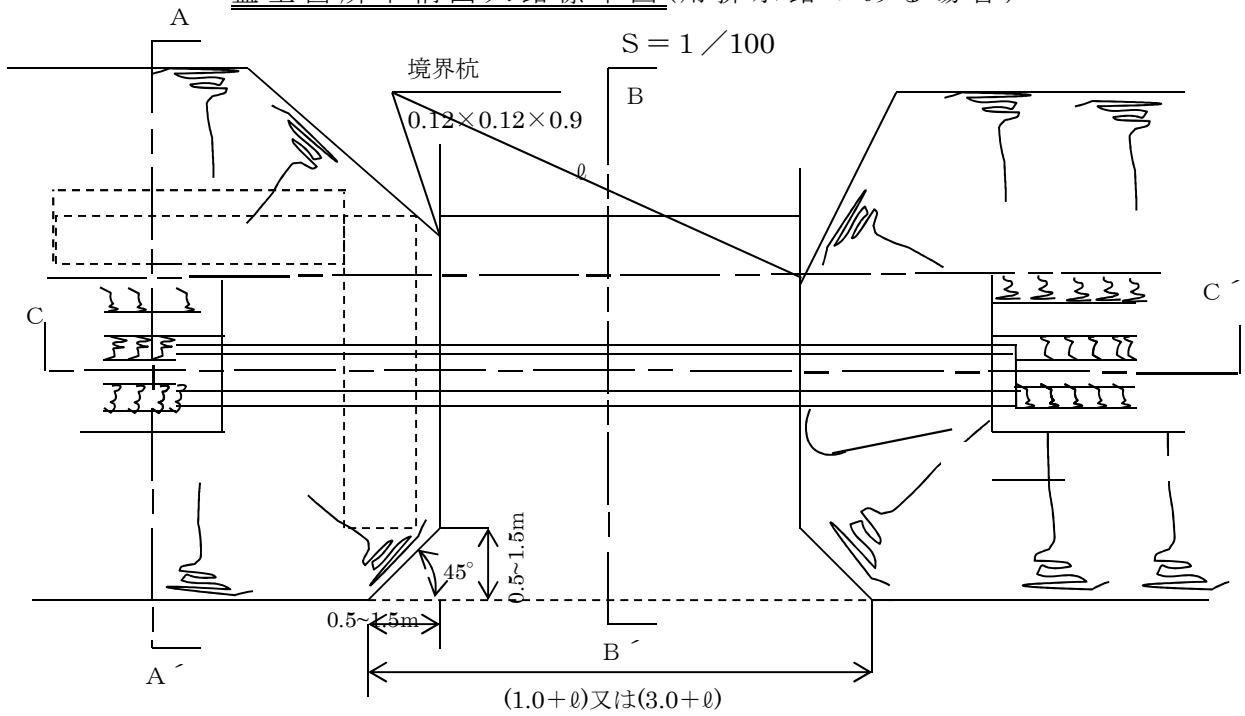


盛土箇所車輛出入路

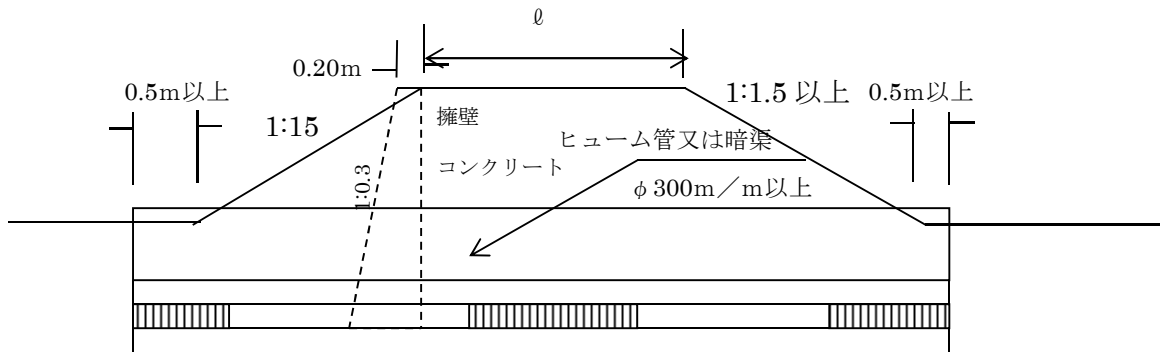
- ① ヒューム管伏設による排水処理は隣地地主の同意書を取る
こと。
- ② U字側溝及びU字側溝の断面は 30 cm×30 cm以上とする。
- ③ U字側溝及びU字側溝雨水の処理は申請者が処理する。
- ④ U字側溝(U型側溝)又は地先ブロックにより官地と民地を
区別し、道路敷きの花壇には低木又は芝を植え付けること。
- ⑤ 法下の官渠又は暗渠は必要に応じ伏設するものとし、最少
断面は 30 cm×30 cm(φ 300 mm)以上とし延長が 10mを超える
ときは断面 50 cm×50 cm(φ 600 mm)以上とすること。

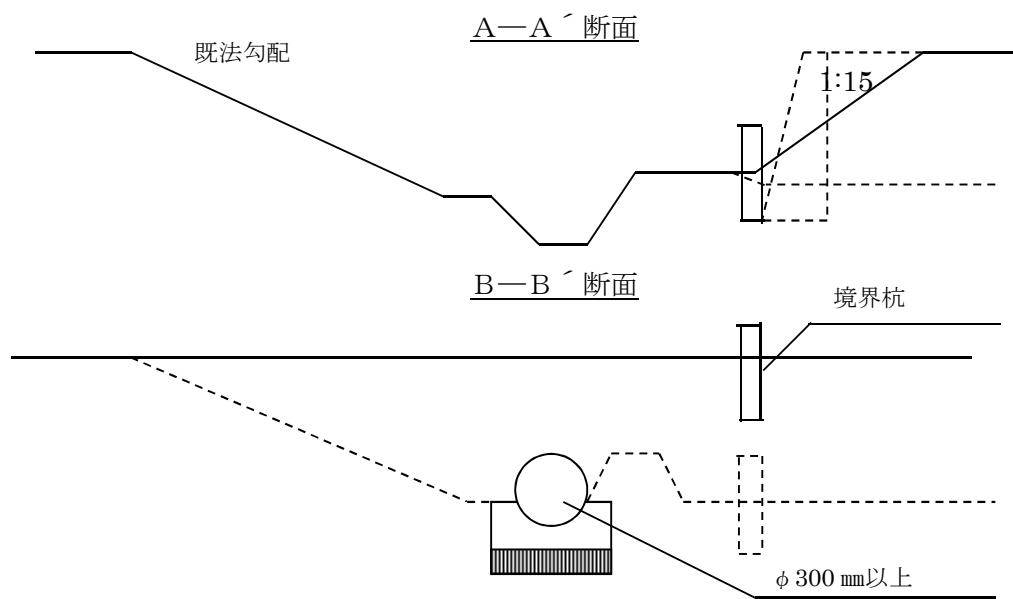
(別表 4)

盛土箇所車輛出入路標準図(用排水路のある場合)



C~C断面





盛土箇所車両出入路

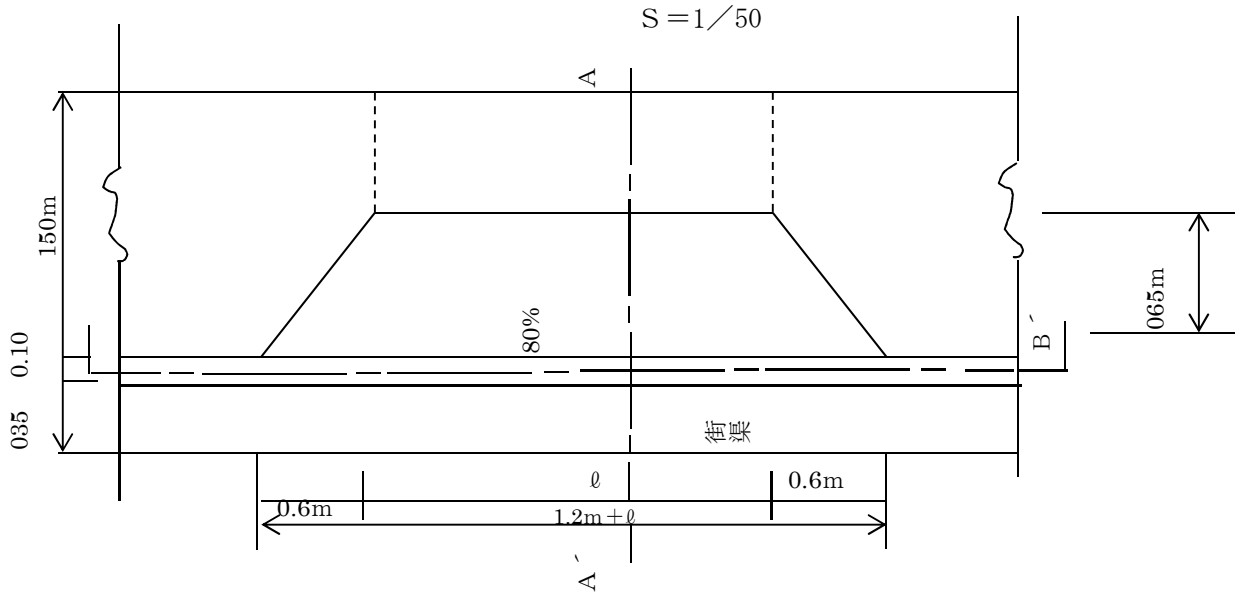
- ① 管渠又は暗渠の構造物は断面決定の計算書を添付し、土木事務所長の承認を受けること。
- ② 用、排水路管理者の同意書を添付すること。
- ③ 民地側盛土部の法勾配は1:1.5以上とすること。
- ④ 擁壁工で土留をするときは茨城県構造基準により断面を決めること。
- ⑤ 管渠又は暗渠の断面は盛土高1m以上で延長10m以上のときは巾600mm($\phi 600\text{m}$)以上とする。

(別表 5)

歩道切下標準図(1)(H=10m)

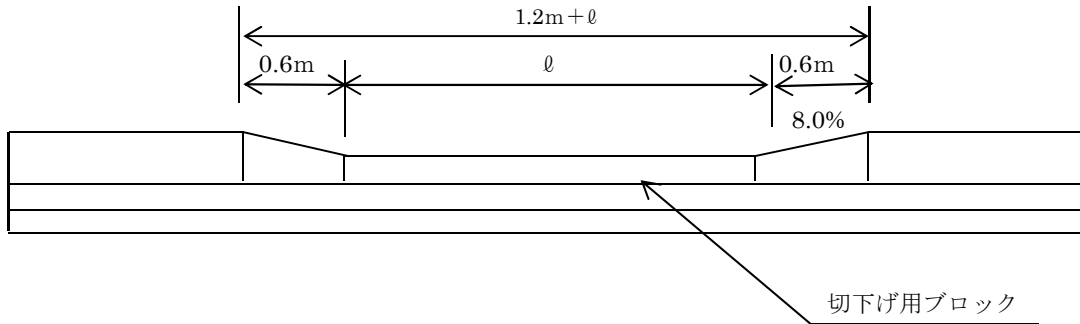
$$S = \frac{1}{10}$$

平 面 図

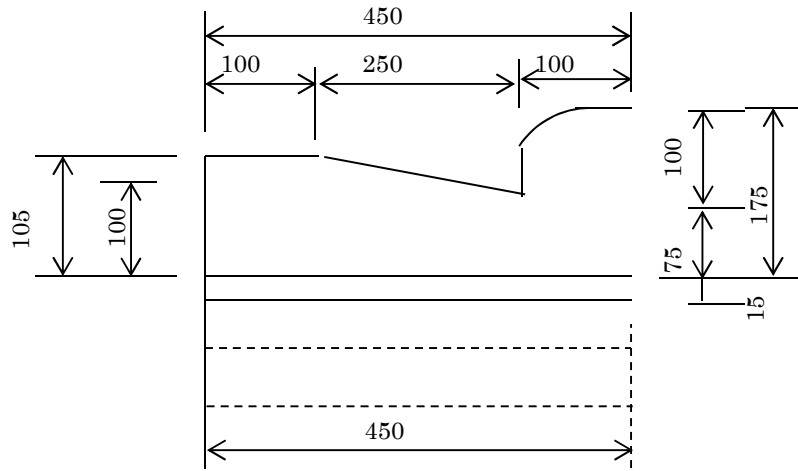


B ~ B断面

$$S = 1/50$$

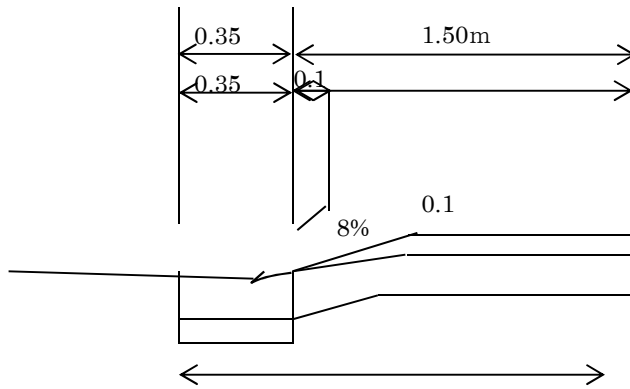


- 備 考 ① 歩道の切下げの勾配は 8%とする。
② l は 4m又は 6mとする。
③ 舗装厚は別表-12 によること。



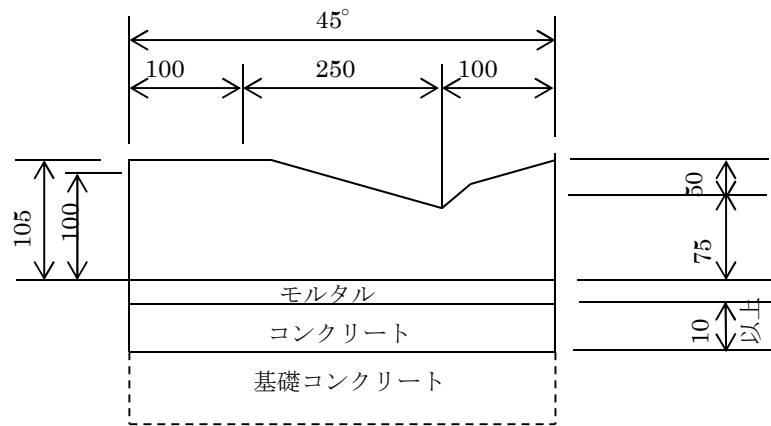
A~A断面

S = 1/50



切下げ部分構造図

S = 1/10

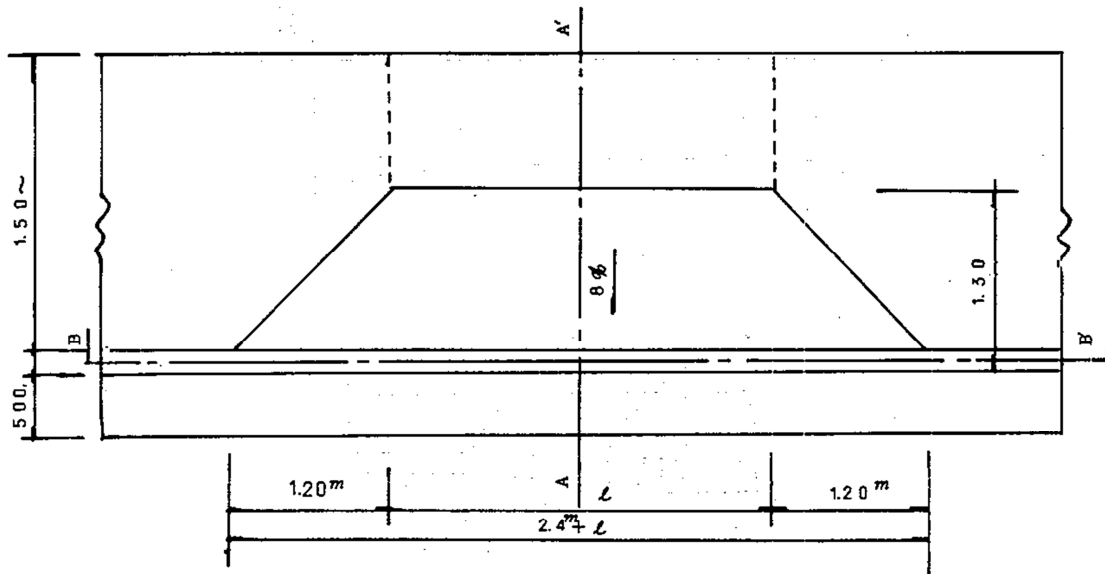


(別表 6)

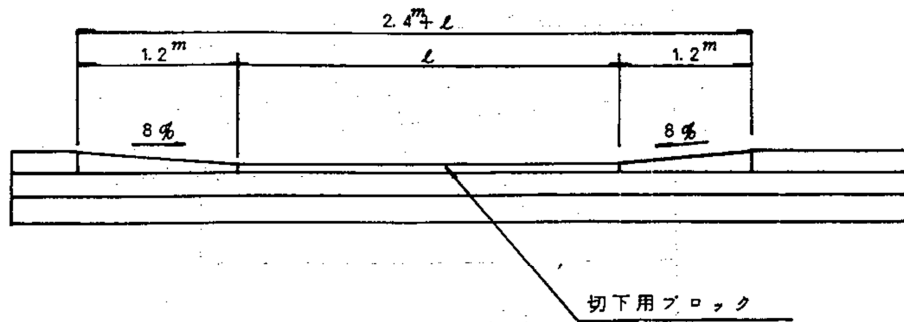
歩道切下標準図 (2) (H = 15 cm)

S = 1/50

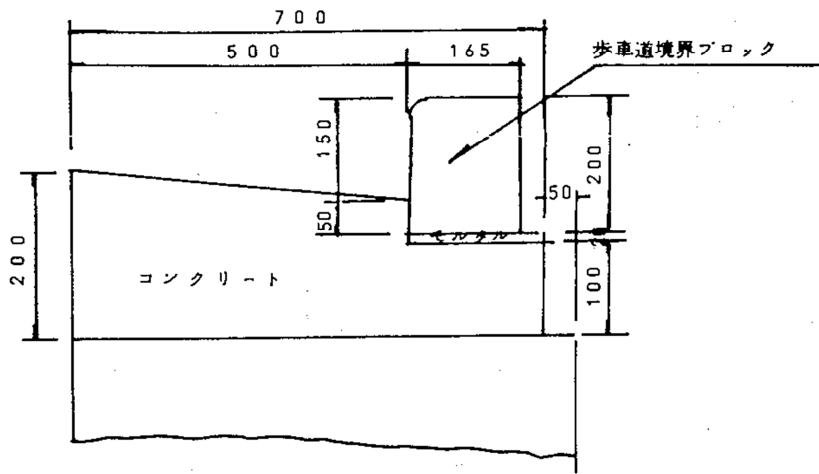
平面図



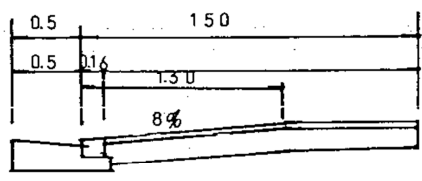
B ~ B 断面



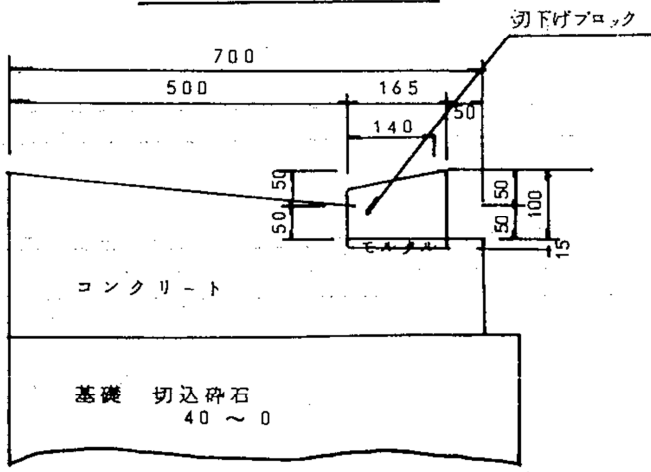
- 備考
- ① 歩道の切下げの勾配は 8% とする。
 - ② L は 4.0 m, 又は 6.0 m とする。
 - ③ 舗装厚は別表 - 12 によること。



A ~ A' 断面

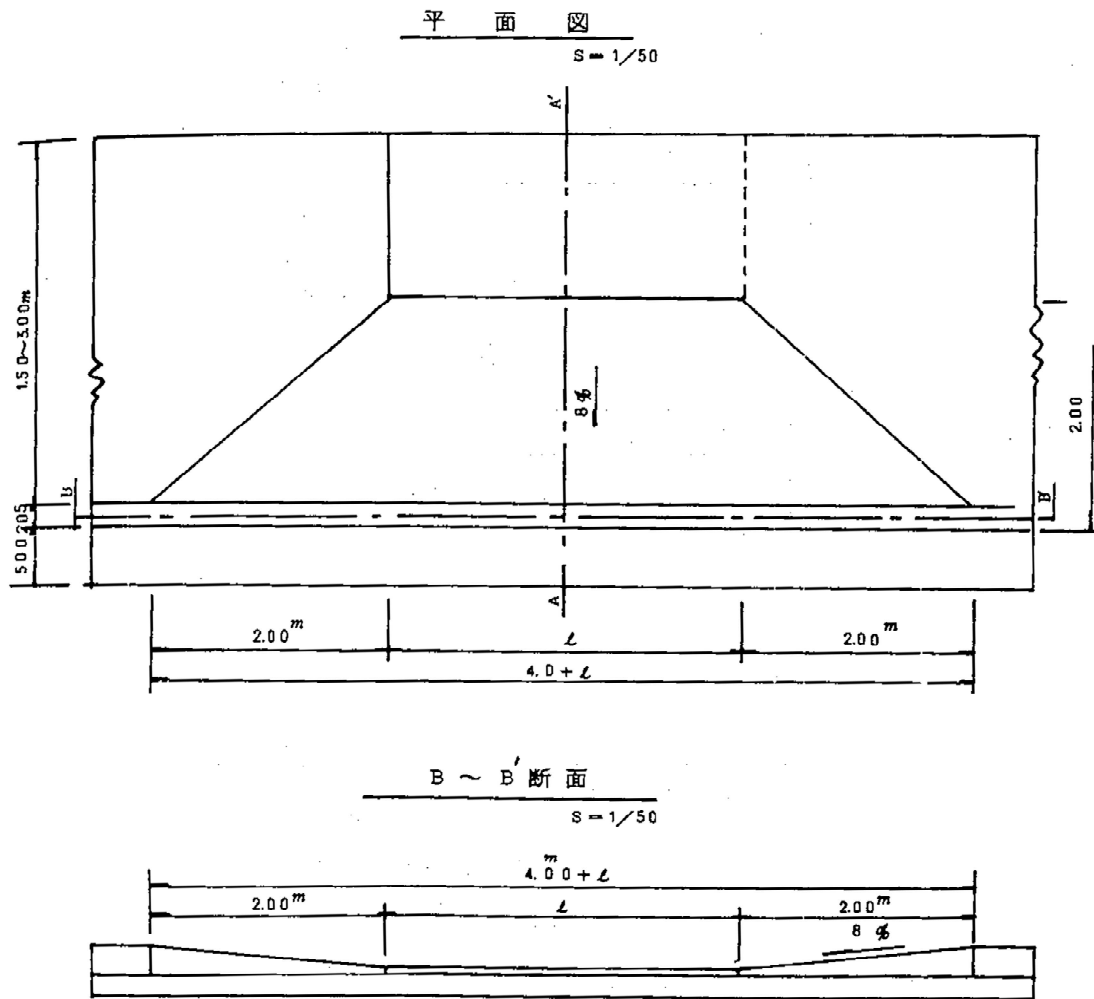


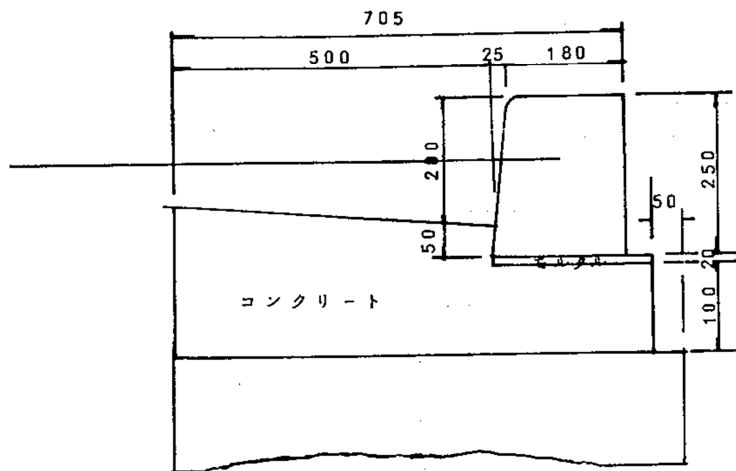
切下部分構造図



(別表7)

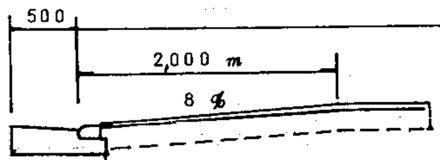
歩道切下標準図(3)(H=20cm)





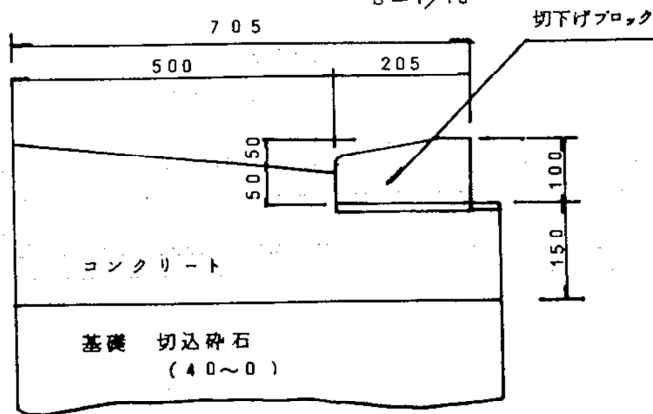
A ~ A 断面

S = 1/50



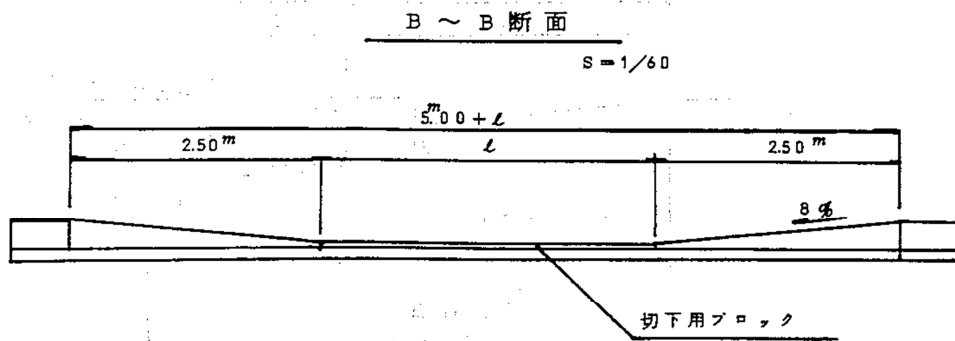
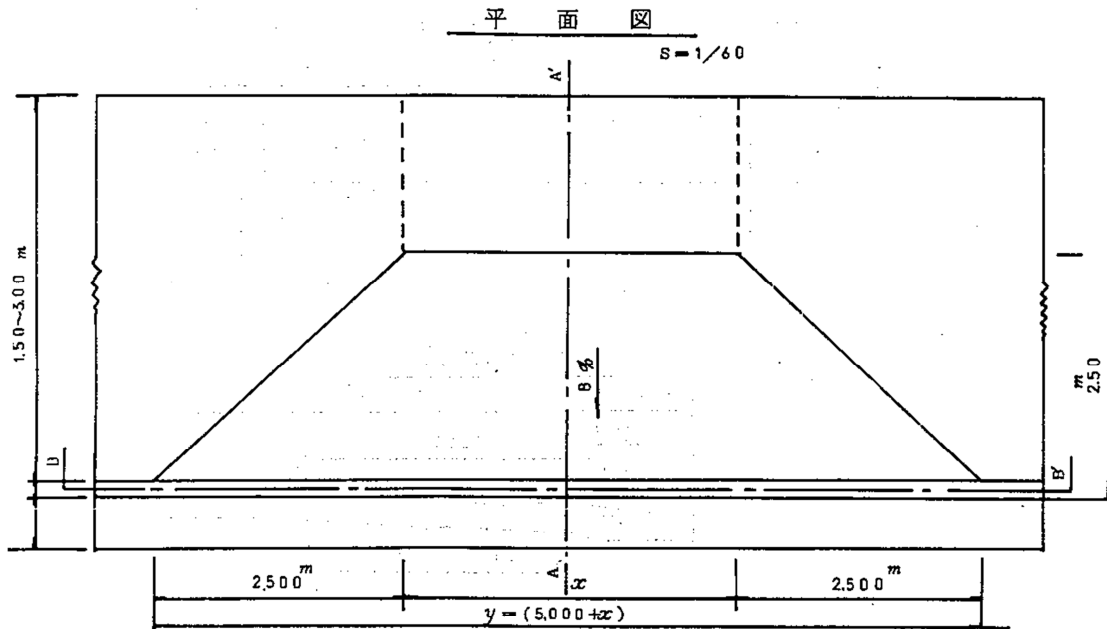
切下げ部分構造図

S = 1/10



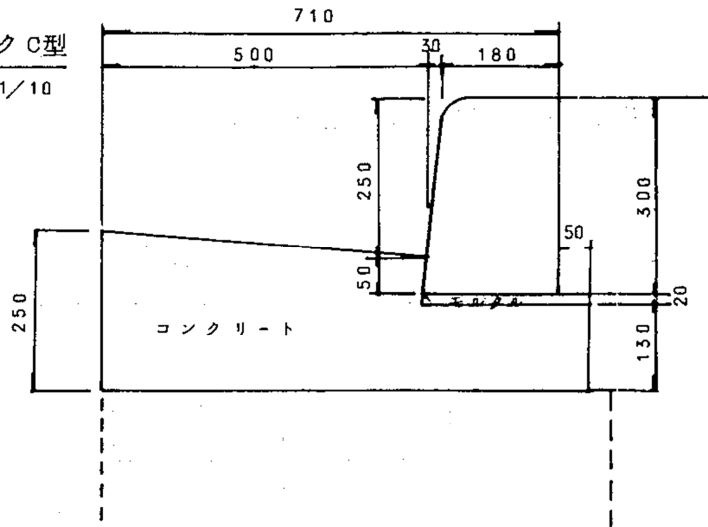
(別表 8)

歩道切下標準図 (4) (H = 25 cm)

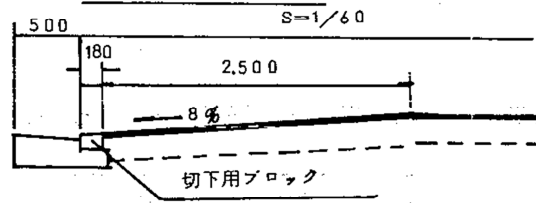


歩車道境界ブロックC型

S=1/10

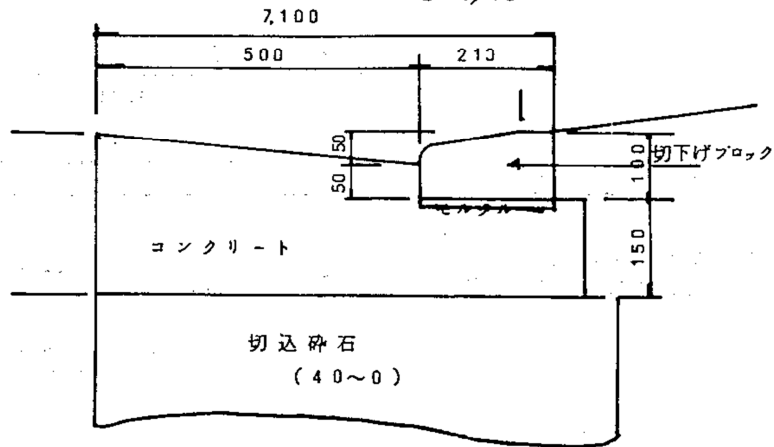


A ~ A 断面



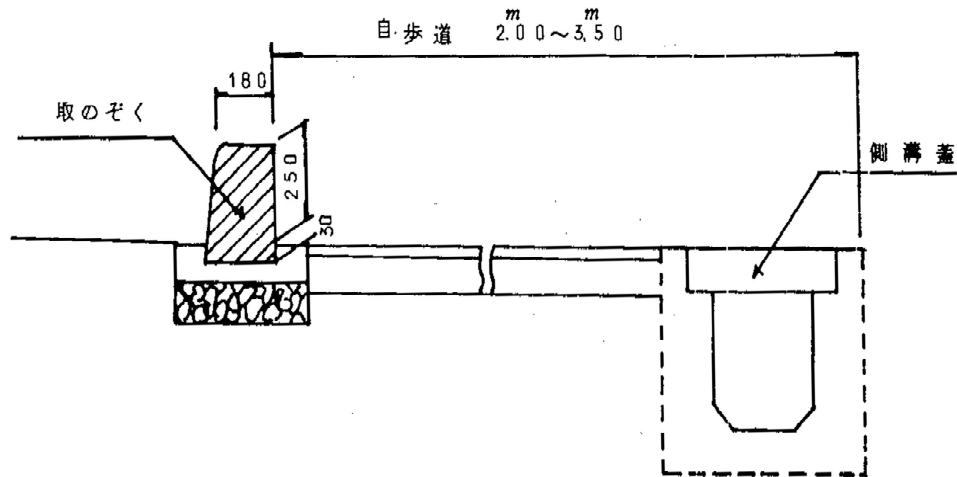
切下部分構造図

S=1/10



(別表9)

自転車歩行者道切取り



境界ブロック取りのぞき

①境界ブロックの取りのぞきは表-14により許可のこと。

復旧方法

- ①境界ブロックの取りのぞいた跡はコンクリート（アスファルト）で復旧すること。
- ②大型車輛の出入路の場合は別表-10及び表-12によること。

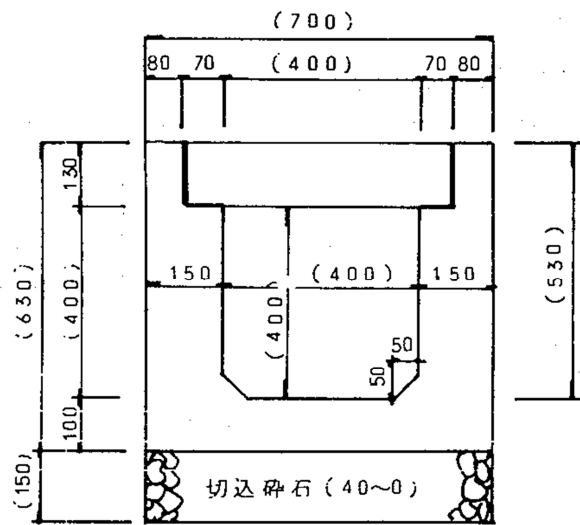
道路附属物撤去及び移設

- ①道路附属物撤去及び移設は、「防護柵設置基準」「道路標識設置基準」等によること。
- ②ガードレールの取りのぞいたレールの前後は袖レールを取りつけること。

(別表 10)

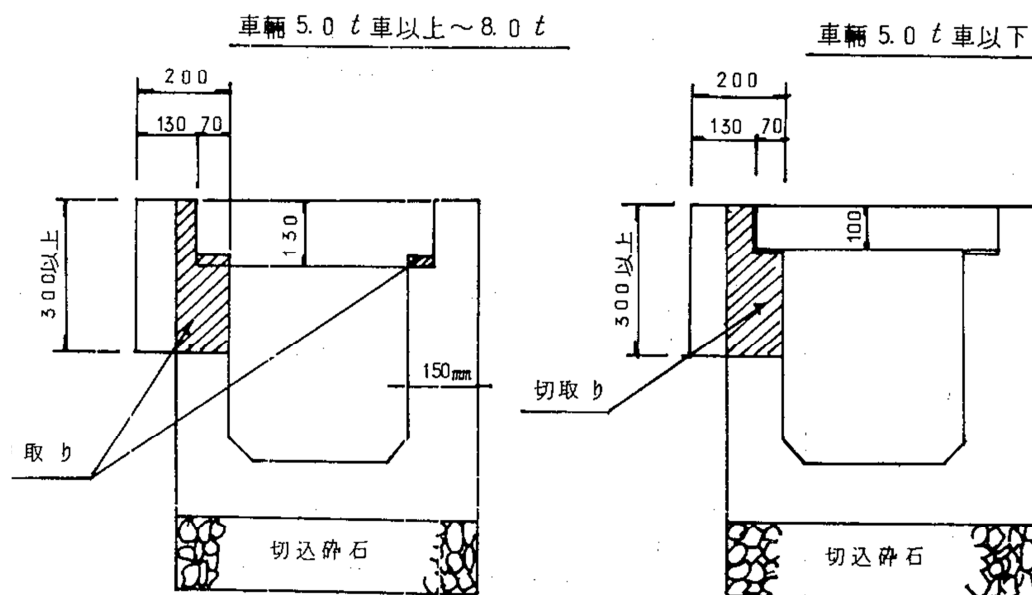
側溝標準断面図(1)

(1) 側溝新設



1. () の欄の数字は工事場所により変えるものとする。
2. 側溝新設の場合の断面は最低 $300 \times 300 \text{ mm}$ 以上とすること。

(2) 既設側溝補強工事

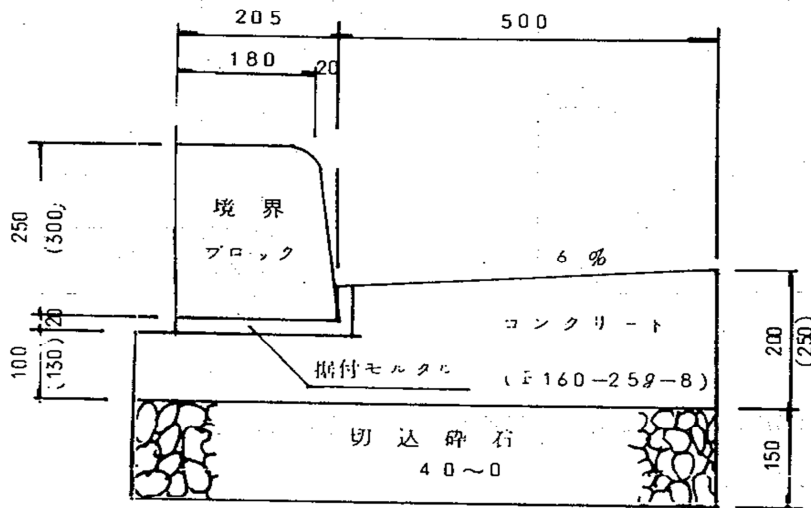


1. 既設側溝の壁厚が15cm以下の場合は側溝の補強工事を行なうものとする。

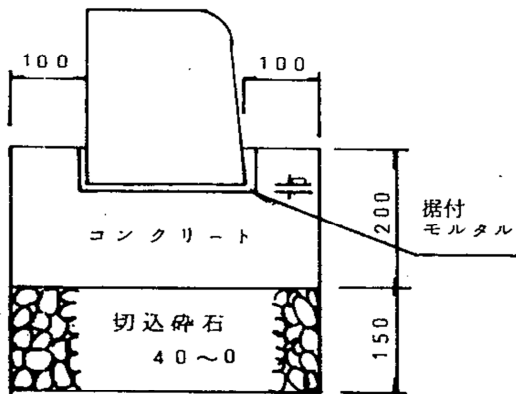
(別表 11)

側溝標準断面図(2)

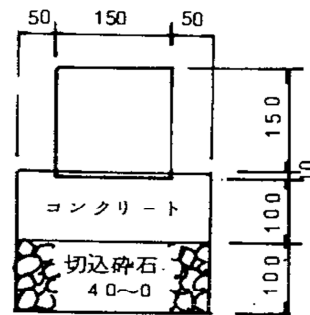
(1) L型街標準図



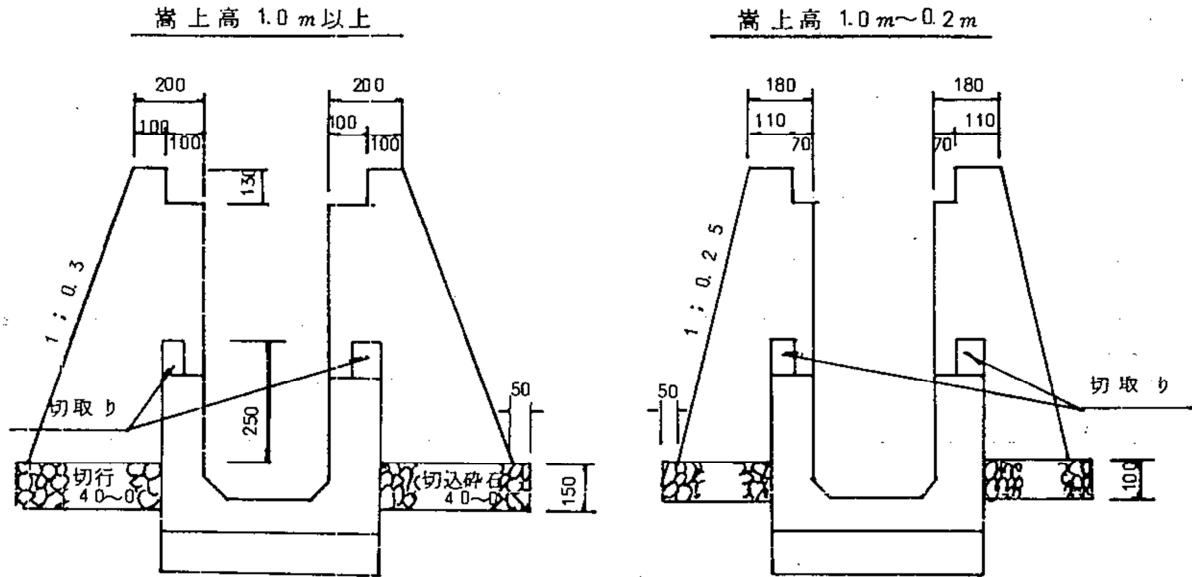
(2) 境界ブロック標準図



(3) 地先境界ブロック標準図



(4) 側溝嵩上標準図



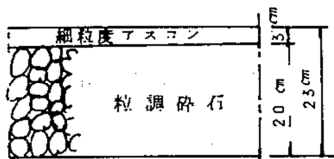
1. 間口延長（道路の高さと同等かそれより高い場合）が20 m以上の場合は、L型街渠とすること。
2. 側溝嵩上げは上記を標準とするが、嵩上高が1.0 m以上の場合は暗渠又は管渠工とする。ただし、側溝嵩上延長が10 mをこえる場合は、暗渠又は管渠の断面は巾50 cm、高さ50 cm（管渠は $\phi 600$ mm）以上とすること。
3. 地先境界ブロックは、民地側のみとする。

(別表 1 2)

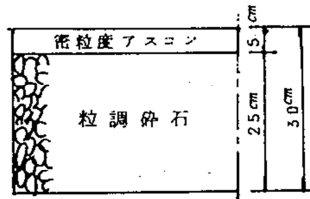
アスファルト コンクリート 舗装厚標準図

出入路巾	車 輛 別	表層工(アスファルト厚)	路 盤 工 (B)	示 様
4.0 m	小型車(2.5 t 以下)	3 cm	20 cm	表層工は細粒度アスコン又は密粒度アスコン(6%)とし、粗粒度アスコンは(4.8%)とする。 路盤材は粒調碎石とし転圧は15 cmごと転圧のこと。
4.0 m~6.0 m	中型車(6.5 t 以下)	5 cm	25 cm	
6.0 m	大型車(6.5 t 以上)	10 cm	30 cm	

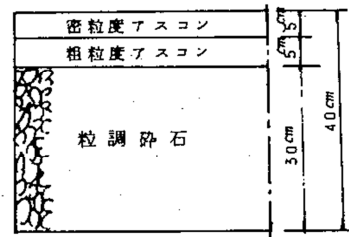
出入路巾 4.0 m



出入路巾 4.0, 6.0 m



出入路巾 6.0 m



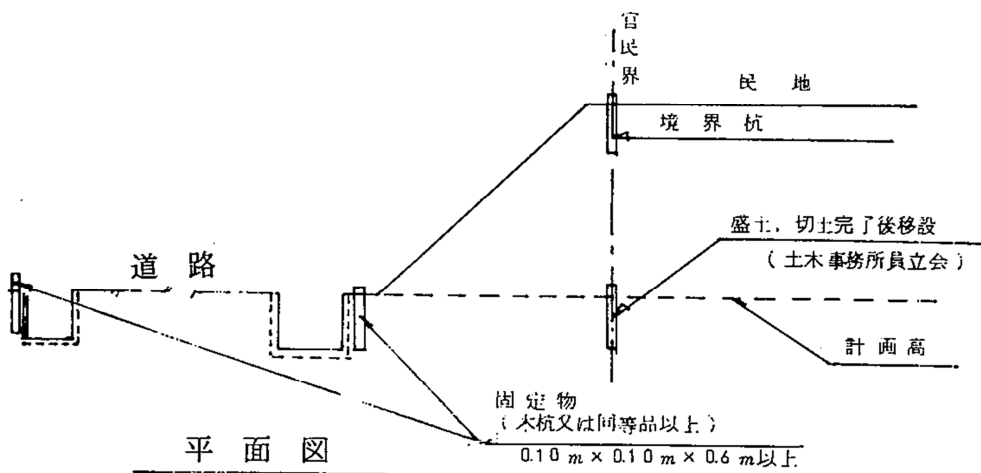
アスファルトコンクリート舗装

- ① 切下部及び盛上部の舗装厚は前面車道と同じ厚さとするのが原則であるが、この表は最低の舗装厚である。
- ② 密粒アスコンの表層厚は4 cm以上とする。

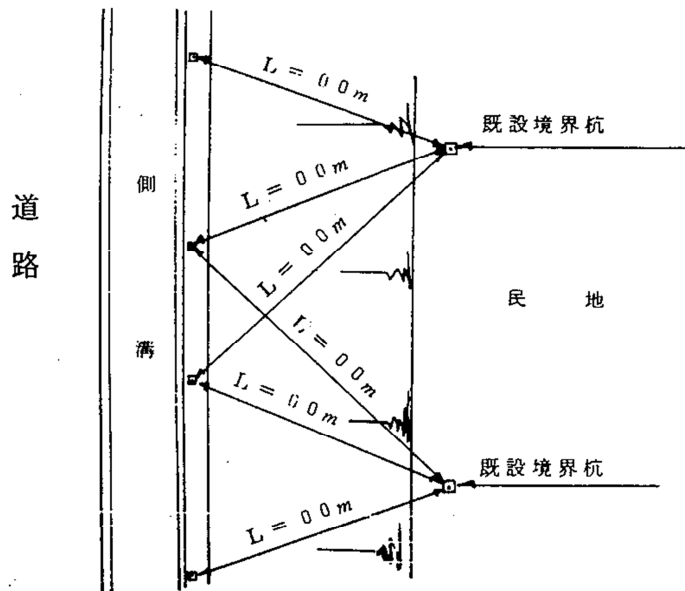
(別表 13)

切土・盛土の場合の境界杭の移設

横断図



平面図

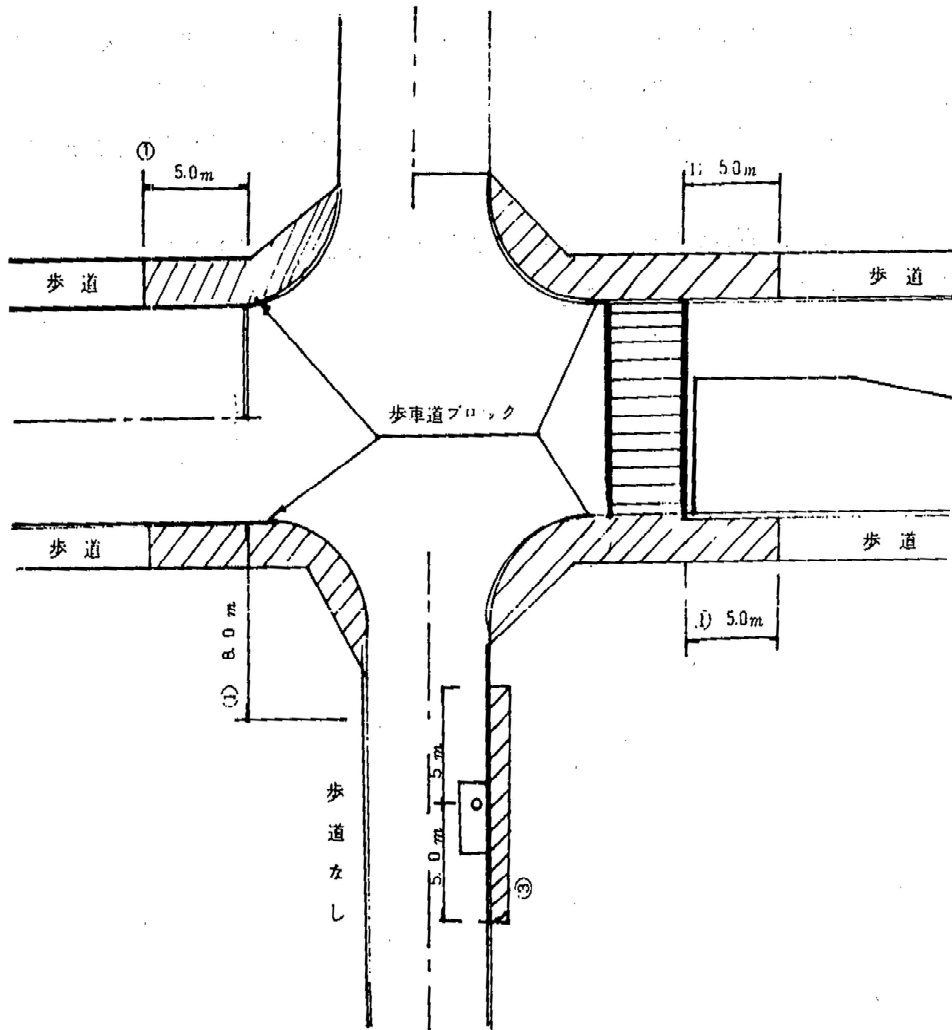


道路法 24 条申請する場合

- ① 官民界の杭を確認し，境界杭のない場合は，申請者の土木事務所で境界確認すること。
- ② 申請者は境界杭確認が済んだときは，別図のように固定物（木杭又は同等品以上）を切土，盛土施行部分に影響のない道路側に設置した上土事業所職員の確認を受けられる状態にしておくこと。
- ③ 申請者は平面図に固定物（木杭又は同等品以上）から既設境界杭までの距離を記入すること。
- ④ 道路の路側又は路肩に打込む事が不適當の場合は，路肩舗装部に鋸等入れてもかまわない。
- ⑤ 固定物（木杭又は同等品以上）は道路の路肩の路面，路肩部）に打ち込むときは道路の路面の高さまで打込み，頭部は出さないこと。

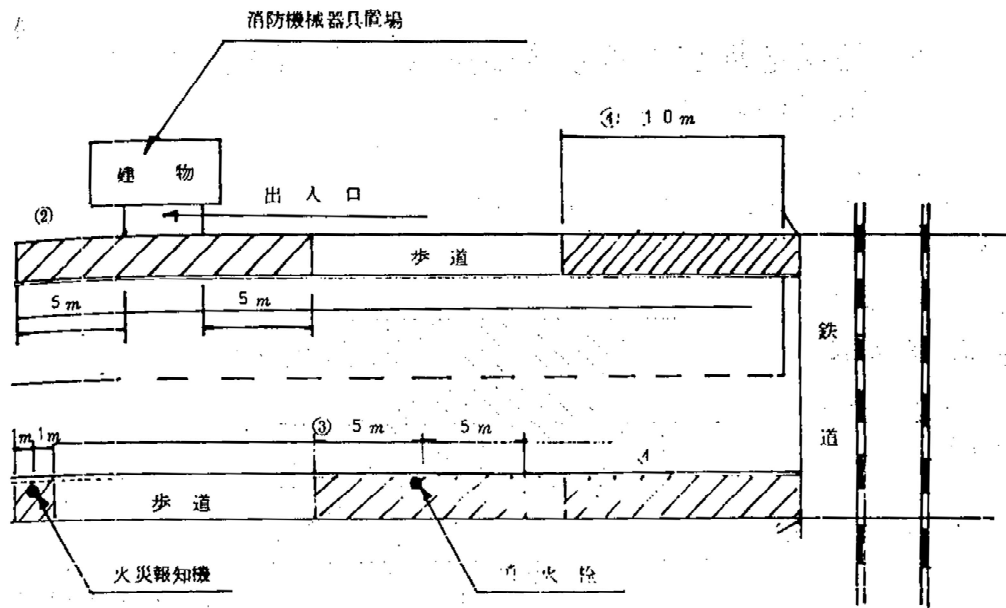
(別表 14)

出入口設置禁止区域



凡例

 禁止区域



出入口設置禁止区域

- ① 交差点において停止線より5mの区間及び横断歩道より5mまでの区間、停止線がない場合は歩道と車道の境界部分より直線で8mの区間。
- ② 消防機械器具の置場若しくは消防用防火水槽の側端又はこれらの道路に接する出入口から5m以内の部分。
- ③ 消火栓又は消防用防火水槽の吸入口、若しくは吸管投入孔から5m以内の部分。
- ④ 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10mの部分。
- ⑤ 火災報知器から1m以内の部分。
- ⑥ 安全地帯の前後10m以内。
- ⑦ 土地区画整理事業等の施行にあたり、道路管理者との協議により、良好な道路環境や交通安全を確保するため、知事が管理する道路へ、車両の出入口設置を禁止した箇所については、車両の出入口設置を認めないこと。

なお、この事務取扱いは、「知事が管理する道路への車両の出入口設置を禁止する場合の事務手続要領」によるものとする。

(平成10年3月11日一部改正)